

会議名：グループホームじゃんぶ 地域連携推進会議

日時：令和8年3月25日（水）10時30分～12時10分

場所：すてっぷリビング

出席者：利用者U様、利用者ご家族M様、地域民生委員I様、後見人Y様

社会福祉法人かむ 理事長 K様

じゃんぶ 所長 M

じゃんぶ サービス管理責任者

1.開会のあいさつ

出席者の方へ、本日お集まりいただいたことへのお礼を伝えた。

また、地域連携推進会議の目的について参加者と確認を行った。

2.出席者の紹介

出席者一人ひとり、事業所との関わりを含めて挨拶をしていただいた。

3.議題

①グループホームじゃんぶについて・施設見学

施設内見学とご利用者さんの過ごし方について説明を行いました。

じゃんぶではご利用者さんの心身や生活状況や望んでいる生活を実現する為に、個別のケースによって様々な過ごし方をサポートすることに力を入れていることを説明しました。

②ご利用者さんの過ごし方について

利用の仕方の一例として、利用者さんの平日・休日両方のスケジュールの説明を会議にご参加いただいた当事者のご利用者さんと一緒に説明しました。（土日については自宅へ帰宅したり、近隣の本屋さんへ買い物に行くことを聞きとりながら説明しています。）

③ヒヤリハット

じゃんぶのヒヤリハットはご利用者さんの心身に変化が有った際に発生することが多い傾向が見受けられています。“必要な情報の共有”とニーズに合わせた“適切な支援をどのように提供できるようにするか”が課題になっています。

又、時点で多い物損については、時間と心に余裕を持って支援に当たれる環境面と、発生時に複数の職員で声を掛け合って安全確認を行う危機意識の向上を課題としています。

④経営状況、職員体制や課題

別紙資料を元に、経営状況について説明しました。

職員体制は、職員確保が課題。職員が不足している。グループホームの勤務は大変と言われており、人手が足りない状況ではあるが、隣のすてっぷ・じゃんぶと協力して、常勤が年に1回1週間必ず休みを取ってもらうようにしている。

完全同性介助となっているが、夜勤者は一人配置のため、3施設（すてっぷ・じゃんぶ・ハーブの里）の夜勤者が緊急時に協力する体制をとり、毎日夜に顔合わせを行っている。

年末年始や夏休みは、通所先が休みのため、日中の対応も必要になる。日中は、3施設の職員で協力して利用者対応を行っている。

4. 質疑応答

◆利用者ご家族様より

日中もホームで過ごすことはできるのか？

⇒基本的には日中活動サービスを利用させていただいていますが、病気や日中サービス・ガイドヘルパーがとれない等の事情があればご利用することは可能です。昼食も300円で提供しています。お一人で過ごせる方はお部屋で過ごしていただいたり、ご自分でお昼ご飯を買いに出られている方もいます。昼食やお買い物の付き添い・通院が必要な方は必要に応じて職員を配置するので、早めにご相談いただければ対応できます。

就寝時間に決まりはあるのか。

⇒21時に共用スペースは消灯しますが、就寝時間に決まりはありません。他のご利用者さんにご迷惑が掛からなければ好きな過ごし方をさせていただいて大丈夫です。ヘッドホンをしてTVを観たり、お部屋に冷蔵庫を置いて飲み物やおやつをストックされている方もいます。朝起きれなくなるなど、生活や健康に支障が有るときは、個別に声を掛けさせていただいて、解決する方法を一緒に考えていきます。

近隣からクレームが来たりはしないのか？

⇒朝や夕方の送迎ラッシュ時に、通所の送迎車が路上駐車をしてしまうことがあり、路上駐車に関しての苦情をいただくことがありましたが、それ以外の苦情は今現在特になく、ご近所の方たちに温かく見守って頂いています。

◆民生委員様より

年齢が上の方（高齢の方）の入居はあるのですか？

⇒65歳以上の方は、介護保険が優先になってくるので、新規での入居はあまりないと思います。じゃんぷは、エレベーターがないので、階段が上がれなくなってしまったり、医療行為が必要になった場合、その方に合う別の施設へ移ることになります。

医療面では、どういった支援をしていますか？

⇒月に2回、訪問看護師が来所して、利用者さんのバイタルチェックや、健康相談を受けてもらっています。また、必要な通院同行は、職員が行っています。

今回、グループホームがどういった施設なのか説明いただいたことを、この地区の民生委員3名と共有したいと思います

5. 閉会のあいさつ

以上